

報道機関各位

令和7年（2025年）10月15日（水）15時00分配付

タイトル	「令和7年度全国林業経営推奨行事」賞状伝達贈呈式について ～管内から株式会社新宮商行が農林水産大臣賞を受賞～																	
配付資料	令和7年度全国林業経営推奨行事受賞者の概要 令和7年度実施要綱																	
内容 (目的・趣旨)	<p>令和7年度全国林業経営推奨行事において、小樽市の株式会社 新宮商行が「農林水産大臣賞」を受賞され、次のとおり賞状伝達贈呈式が開催されますのでお知らせします。</p> <p>○全国林業経営推奨行事の概要 本行事は、昭和37年度より農林水産祭の参加行事として実施されているもので、森林の適正な管理、林業の技術・経営の改善に努め、森林の有する多面的機能の発揮及び林業の持続的かつ健全な発展に寄与している森林所有者等を表彰。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主催：公益社団法人 大日本山林会 ・後援：林野庁 ・受賞の種類：農林水産大臣賞（8者、うち道内1者） 林野庁長官賞（16者、うち道内2者） 大日本山林会会長賞（7者、うち道内2者） <p>○北海道における受賞者</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">農林水産大臣賞</td> <td style="text-align: center;">株式会社 新宮商行</td> <td style="text-align: right;">(小樽市)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">林野庁長官賞</td> <td style="text-align: center;">小出 理吉</td> <td style="text-align: right;">(伊達市)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">林野庁長官賞</td> <td style="text-align: center;">森谷 浩久</td> <td style="text-align: right;">(稚内市)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">大日本山林会会長賞</td> <td style="text-align: center;">明石 修二</td> <td style="text-align: right;">(乙部町)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">大日本山林会会長賞</td> <td style="text-align: center;">鎌塚 一成</td> <td style="text-align: right;">(中川町)</td> </tr> </table> <p>○賞状伝達贈呈式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時：令和7年11月6日（木） 11:00～13:30 ・会場：イイノホール 飯野ビルディング四階（東京都千代田区内幸町2-1-1） 			農林水産大臣賞	株式会社 新宮商行	(小樽市)	林野庁長官賞	小出 理吉	(伊達市)	林野庁長官賞	森谷 浩久	(稚内市)	大日本山林会会長賞	明石 修二	(乙部町)	大日本山林会会長賞	鎌塚 一成	(中川町)
農林水産大臣賞	株式会社 新宮商行	(小樽市)																
林野庁長官賞	小出 理吉	(伊達市)																
林野庁長官賞	森谷 浩久	(稚内市)																
大日本山林会会長賞	明石 修二	(乙部町)																
大日本山林会会長賞	鎌塚 一成	(中川町)																
参考	○令和2年度に、ニセコ町在住の川原 与文氏が林野庁長官賞を受賞																	
報道解禁	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">テレビ・ラジオ・インターネット</td> <td style="text-align: center;">月 日 ()</td> <td style="text-align: center;">時以降</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">新聞</td> <td style="text-align: center;">月 日 ()</td> <td style="text-align: center;">刊以降</td> </tr> </table>	テレビ・ラジオ・インターネット	月 日 ()	時以降	新聞	月 日 ()	刊以降										
テレビ・ラジオ・インターネット	月 日 ()	時以降																
新聞	月 日 ()	刊以降																
報道（取材）に 当たってのお願い																		
他のクラブとの 同時発表	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり ()																	
担当窓口	後志総合振興局森林室普及課 普及課長 満田 壱敬 〒044-0034 北海道虻田郡倶知安町南4条西1丁目25-1 TEL 0136-22-4859 (直)、FAX 0136-22-3749																	

令和7年度 全国林業経営推奨行事 受賞者の概要

別紙

区分	氏名／名称	都道府県	市町村	概要	経営面積 (ha)
農林水産大臣賞	かぶしきかいしゃしんぐうしょうこう 株式会社新宮商行	北海道	小樽市	1906年の創業以来、道内各地で森林経営を行う一方、林業機械メーカー・商社として北海道林業の効率化に貢献する。	4,086.4
	ゆうげんがいしゃきょうりんはん 有限会社共林班	秋田県	横手市	取締役の高橋勝美氏は森の名手・名人に認定された林業技師。周辺の森林境界を熟知した地域の山守的存在である。	所有8.6 受託52
	ひたちおおたししんりんくみあい 常陸太田市森林組合	茨城県	常陸太田市	森林所有者から森林経営を長期的に引き受ける取組みを推進。ドローンやコンテナ苗の活用で作業効率を改善した。	所有33.3 受託2,465
	おきななかぞうりんかぶしきかいしゃ 沖中造林株式会社	三重県	松阪市	地域を代表する先駆的な林業事業体。吉野林業に倣った手法により、波瀬林業と呼ばれる高品質の木材を生産する。	1,029
	おおしらかわせいさんしんりんくみあい 大白川生産森林組合	新潟県	魚沼市	スノービーチ（雪国のブナ）プロジェクトによって、薪炭用ブナ林から新たな地域資源を生み出す独自林業を確立した。	1,386
	ほうえいりんぎょうかぶしきかいしゃ 豊永林業株式会社	奈良県	吉野郡下市町	周辺の森林所有者を取り込んで集約化を進め、森林経営計画を策定するなど、持続可能な地域林業の牽引役を務める。	所有137.7 受託362.4
	ゆうげんがいしゃいとうりんぎょう 有限会社伊藤林業	高知県	吾川郡いの町	創業者を含めた三世代が活躍する林業経営体。行政や独法と連携を図るなど、地域林業の振興に欠かせない存在。	所有800.5 受託30.3
	かぶしきがいしゃながさきりんぎょう 株式会社長崎林業	長崎県	諫早市	県内の民間事業体では最も木材生産量が多く、高性能機械の保有台数もトップクラス。社内外の技術者育成にも貢献。	20.7
林野庁長官賞	こいで りきち 小出 理吉	北海道	伊達市	約60年前から夫婦二人三脚による農林複合経営を継続中。地元森林組合の組合長、指導林家連絡協議会会長を務めた。	8.6
	もりや ひろひさ 森谷 浩久	北海道	稚内市	祖父と父から相続した森林を約146haまで拡大。栄養分に乏しい土壌と強風地帯という環境下で適地適木の施業を実施。	145.7
	しゅうきょうほうじんよやくしんとうやまよま 宗教法人 松緑神道大和山	青森県	東津軽郡平内町	地主不在によって荒廃した森林を昭和44年に取得。かつて地域に恵みをもたらした「青垣の山」の再生を目指す。	2,381
	いしわた たかお 石渡 高雄	岩手県	久慈市	針葉樹林は長伐期の経済林として、広葉樹林は短伐期の製炭用原木材として、用途別に目標を定めた経営行っている。	108.6
	せい の ちゅういち 清野 忠市	山形県	西村山郡朝日町	所有森林を管理・経営する傍ら、地区内の団地化や林業教育、後継者育成などで県の林業振興に大きく貢献する。	25
	たじま てつや 田島 哲也	埼玉県	飯能市	植栽の密度や枝打ちに工夫を施すことなどで高品質な木材生産を実現している。西川林業クラブの会長を15年務める。	33
	ゆうげんがいしゃてんによさん 有限会社天女山	山梨県	北杜市	観光地という地域の特性に合わせ、景観や生物多様性の維持に配慮した施業を行うなど、多様な林業を展開している。	受託 250.4
	にほんぎせいさんしんりんくみあい 二本木生産森林組合	岐阜県	高山市	1984年に県と協同して有用広葉樹モデル整備林を設置。広葉樹林の育成技術の検証、開発、普及に大きく貢献。	310
	かみかわづざいさんく 上河津財産区	静岡県	賀茂郡河津町	明治22年設立。以来、住民自らの手で森林管理を実施し、近年は低コスト主伐・再造林等で地域林業の発展に貢献。	294
	ひがしたね せいさんしんりんくみあい 東種 生産森林組合	富山県	中新川郡上市町	所有林のみならず、私有林や県営林の治山事業を含めた森林整備など、地域の森林管理を一手に担う不可欠な存在。	所有27.6 受託3.2
	かぶしきかいしゃ 株式会社グリーン・シャイン	鳥取県	日野郡日南町	森林組合との連携や高性能林業機械の導入などにより、素材生産量が平成19年の2,000㎥から10倍以上に増えた。	35.6
	ひがしごうちかぶやまきょうゆうりん 東河内株山共有林	兵庫県	宍粟市	平成19年に県下第1号のSGEC森林認証を受け、同23年には県下の森林で初のJクレジットの登録を受けて販売を行った。	290.2
かぶしきがいしゃもりおかりんさん 株式会社守岡林産	広島県	三次市	会社を設立してからまだ12年。しかし県内の同規模経営体と比較して素材生産量、労働生産性はトップレベルである。	所有3.7 受託49.4	
ふじい まさと 藤井 正人	山口県	山口市	最盛期は乾椎茸500kg、生椎茸1,000kg以上を生産。県の乾椎茸品評会では特賞を始め何度も上位入賞を果たしている。	14	
かぶしきがいしゃひよしのうりんこうしゃ 株式会社日吉農林公社	愛媛県	北宇和郡鬼北町	会社の赤字体質を改善すべく社員一丸となって立て直しに奮闘。営業力強化と高性能機械の導入で安定的経営を実現。	32.7	
むとう のりひろ 武藤 規尋	熊本県	菊池市	展示林のようなヒノキの美林を経営。椎茸栽培では雨天時でも作業に支障が出ないホダ場を作り、注目を集めている。	56	
大日本山林会会長賞	あかし しゅうじ 明石 修二	北海道	爾志郡乙部町	森林造成や治山工事を行う会社を経営。現在は森林組合の組合長、北海道指導林家連絡協議会の副会長を務める。	19.6
	かまつか かずなり 鎌塚 一成	北海道	中川郡中川町	森林組合業務を兼務する町職員として林務行政と森林組合業務に精通。自ら森林を購入し、経営規模を拡大した。	83.1
	のうじくみあいほうじんだいちくみあい 農事組合法人大地組合	秋田県	鹿角郡小坂町	最近3年間の木材生産量は2万3,200㎥。伐採後は再造林を行う方針の下で、持続可能な森林経営を目指している。	147.5
	わたなべ たもつ 渡辺 保	栃木県	鹿沼市	平成25年に金融機関を退職し、家業の林業経営に。その2年後に鹿沼市森林組合長となり、現在、組織改革を推進中。	107.2
	かみにゆうせいさんしんりんくみあい 上丹生生産森林組合	群馬県	富岡市	組合員は、地域住民の生活に欠かせない水道水源地を守る活動であることを自負し、組合運営の継続に努力している。	24.9
	いで おきまさ 井出 興正	長野県	南佐久郡北相木村	佐久林業経営者協会会長を13年務め、林業生産向上と林業の社会的・経済的地位向上に向けて情報共有等を行った。	612.5
	かわい たつお 河合 辰男	愛知県	豊田市	長年、優良材の採れる健全な森林を経営する傍ら、妻らと共に特用林産物の生産やキャンプ場の経営を行っている。	42.5

令和7年度農林水産祭参加全国林業経営推奨行事（受賞者の概要）

■農林水産大臣賞

○ かぶしきがいしゃ 株式会社 しんぐうしょうこう 新宮商行 代表取締役 坂口栄治郎 氏

（北海道小樽市） M39設立

- ・(株)新宮商行は、1906(明治39)年の創業から林業や木材生産加工に携わり、道産材製品を国内外に供給してきた。また、チェーンソー・刈払機の自社開発や先進高性能林業機械の販売強化などに取り組み、林業機械の総合メーカーとしても北海道林業の発展に貢献している。
- ・1924(大正13)年からは社有林の経営に着手し、現在は後志管内(積丹町美国山林)のほか全道各地に社有林を有し、会社の信条である「森を育み、木を活かす」「木を育て、人を育てる」をモットーに森林経営を進めてきた。
- ・所有面積は約4,090ha。
- ・北海道内の社有林の9割が森林認証取得済みで、持続可能な森林経営に加え、生物多様性保全や環境面にも配慮した山づくりを進めている。森林整備については、路網など基盤整備を重要視し、人工林は所在地域の実情に配慮した複層林施業を導入、若齢林についても可能な限り利用間伐による育成を積極的に行い、森林資源の充実と持続可能な森林経営を実践している。
- ・社有林から生産される木材は、製材や合板向けの一般用材、パルプ用材、薪材からバイオマス発電用燃料材に至るまで、素材の品位等に応じた無駄のない利用と安定的な供給を計画的に実施している。
- ・学術自然保護地区となっている北限のスギ人工林(羽幌町築別山林)をはじめ、道内の社有林を林業関係者の学びの場として提供している。また、小樽市銭函工場では、一般住民を対象として木育イベントを開催するなど地域に貢献している。

令和7年度

全国林業経営推奨行事実施要綱

1 趣 旨

森林の適正な管理並びに林業の技術及び経営の改善に努め、森林の有する多面的機能の発揮及び林業の持続的かつ健全な発展に寄与している森林の管理経営体を表彰する。

2 主 催

公益社団法人 大日本山林会

3 後 援

林野庁

4 協 賛

一般社団法人 全国林業改良普及協会（予定）

一般社団法人 日本林業経営者協会（予定）

日本椎茸農業協同組合連合会（予定）

一般財団法人 農林水産奨励会（予定）

5 参加資格

一定面積（3ha）以上の森林を管理・経営し、かつ地域振興に貢献している個人、会社、協業体、共同体、団体等を対象とし、次に掲げる何れかに該当するものとする。

- (1) 多面的機能を持続的に発揮し得るよう、一定の計画のもとに森林を適正に育成・管理し、実績をあげているもの。
- (2) 各種新技術の開発・導入、流通・加工・販売、労務対策等に時宜を得た創意・工夫が加えられ、その効果が顕著であるもの。
- (3) 森林の適正な管理・経営を行いつつ、レクリエーション利用、文化的利用、教育的利用等森林の総合的利用を実践し成果をあげているもの。
- (4) 特用林産、農業等との複合経営（共同作業、共同集出荷等を含む）を行い、実績をあげているもの。
- (5) 他の業種と兼業であっても、上記要件の何れかを満たしているもの。
- (6) 既に本行事の受賞歴を有する管理経営体であっても、爾後5年以上を経過し、その後の向上進歩により格段に優れた内容になっているもの。あるいは後継者が引き継ぎ、更に内容を充実させているもの。

6 参加の方法

- (1) 都道府県は、上記5の参加資格があり、かつこの行事に参加を希望する者について、優秀と認めたものの内から5名以内を選び、令和7年3月31日までに公益社団法人大日本山林会（〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-2-1 日土地内幸町ビル2F）に参加申込書及び推薦調書を送付する。
- (2) 都道府県の審査の対象となったもの全員の氏名、年齢及び住所を明記した一覧表を同時に提出する。

7 審査

上記6により送付された参加申込書及び推薦調書については、別に定める「全国林業経営推奨行事審査要領」に基づき審査を行う。

8 表彰

- (1) 審査の結果、優秀と認めるものを表彰する。
- (2) 表彰は次のブロック単位に行う。

第Iブロック	北海道
第IIブロック	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
第IIIブロック	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川
第IVブロック	山梨、長野、静岡、岐阜、愛知、三重
第Vブロック	新潟、富山、石川、福井、鳥取、島根
第VIブロック	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
第VIIブロック	岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知
第VIIIブロック	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄
- (3) 授賞の種類は、農林水産大臣賞、林野庁長官賞、大日本山林会会長賞とする。
- (4) 表彰式は東京で行う。
- (5) 次に掲げる基準のいずれかに該当し、かつ経営主の配偶者の貢献度が高いと認められる場合にあつては夫婦連名で表彰することができる。
 - ① 家族が互いの個性と能力を認め合い、かけがえのない仲間として共同経営的に農林漁業を営む家族（経営）協定を締結していること。
 - ② 推薦調書等において経営主の配偶者の作業分担、従事日数等が概ね5割に達していると確認できること。
 - ③ 農林漁業についての普及指導組織等による意見書が添付されていること。